

観光社会資本の事例

テーマ	小松川千本桜を有する、荒川小松川地区高規格堤防
【施設の状況写真】	
	<p>荒川小松川地区高規格堤防は、平成2年度より事業着手し、現在施工中の地区。 小松川地区内には、東京都立大島小松川公園や都営住宅等の施設が完成、また江戸川区により高規格堤防上に千本の桜が植樹され「小松川千本桜」として、毎年3月に「小松川千本桜まつり」が開催されている。</p>
【施設の利用写真】	
 <p data-bbox="172 1451 735 1570">「小松川千本桜まつり」の開催状況。まつりの開催以外にも、桜と荒川の風景を楽しむ人々が多くの人々が訪れる。</p>	 <p data-bbox="794 1451 1358 1570">高規格堤防上に植樹された、約2kmにわたる千本の桜が開花した情景は絶景であり、桜の名所として、多くの人々を集めている。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>小松川地区高規格堤防は、当該地区はもとより、わが国の中枢機能をなす首都圏に及ぶ広範な地域の治水安全度の向上を図るとともに、小松川地区の安全で快適なまちづくりを実現しています。</p> <p>さらに、江戸川区により千本もの桜が約2kmにも及び植樹され、今では、江戸川区のシンボルであるとともに、都内でも有数の桜の名所として、毎年多くの方々が訪れています。</p>	

テーマ	小松川千本桜を有する、荒川小松川地区高規格堤防
【社会資本の基礎データ】	
名称	荒川小松川地区高規格堤防
所在地	東京都江戸川区2丁目～3丁目
事業名	高規格堤防整備事業
事業主体	国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
事業期間	平成2年度～平成21年度(予定)
【社会資本の役割・効果】	
<p>治水効果</p> <p>荒川は、東京都区部を流れている河川の中でもっとも大きな河川で、洪水や高潮から東京やその周辺の都市を守っている。しかし、この荒川下流部の堤防が決壊した場合、その氾濫区域は約372km²に及び、我が国の経済活動の中心をなす兜町や銀座付近まで氾濫した水が到達する可能性があるとして想定され、甚大な被害が発生するおそれがある。</p> <p>このような被害を防ぐための根本的な対策として、荒川では高規格堤防の整備を推進しており、荒川下流部の東京都江戸川区においては平成2年度より「小松川地区高規格堤防」の整備に着手、平成21年度完成を目指して整備を実施しているところである。</p>	
【位置図】	
【関連ホームページ】 観光協会、イベント関係 http:// www.city.edogawa.tokyo.jp/ 高規格堤防関係 http://www.ara.or.jp/	